

令和7年度の重点課題

○5年男子

・全8種目中「握力」と「長座体前屈」と「ボール投げ」が県平均を下回っている。

○5年女子

・全8種目中「握力」と「長座体前屈」と「ボール投げ」が県平均を下回っている。

○総合評価

・総合評価(A～E)を表す割合E・Dの児童が16.6%となっている。

○運動習慣に関するアンケートについて
(第5学年)

・テレビやスマートフォンを見る時間が長くなるほど、運動やスポーツをする時間が短くなっている傾向にある。

・「体育の授業は楽しいですか」という質問では、肯定的に回答した児童の割合は86%に対して授業以外で運動する機会を問う質問では、週に2回以下の児童の割合が35%となっている。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

・年間を通して、授業の始めにサーキット運動やACP(アクティブチャイルドプログラム)を取り入れた取り組みを継続して、筋力や全身持久力の向上を図る。
・おにごっこやドッジボールなどの活動を授業で取り入れることで、体を動かす楽しさを実感し、授業以外でも自主的に運動やスポーツに取り組むように仕向ける。
・多様な器具や用具、練習場所の中から、自己の課題に応じた場を選択することで、誰もが無理なく運動に取り組むことができるようにする。
・休憩時間に学級レクをするよう促したり、曜日によって運動場の使い方を決めておいたりすることで、児童が体を動かすことを楽しめる機会や時間を増やす。
・体育委員会や運営委員会など、児童が主体となって運動の楽しさを味わえる活動を企画し、運営する。

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	14.43	21.14	31.49	43.18	49.63	9.11	174.22	19.16	56.57	第5学年	14.07	19.26	35.52	38.81	39.88	9.59	164.19	13.10	55.46

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	14.43	21.14	31.49	43.18	49.63	9.11	174.22	19.16	56.57	第5学年	14.07	19.26	35.52	38.81	37.93	9.75	164.19	13.10	55.46

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	70.45	15.91	11.36	2.27	第5学年	60.87	26.09	10.87	2.17

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

・体育授業開始時の準備運動(10分～15分)の中に、ACP(アクティブチャイルドプログラム)や、学校行事委員会が作成に取り組んでいるダンス体操を取り入れる。
・遊びのすすめ、セットメニューを作成し活用する。
・宮内体操(仮称)
・体じゃんけん
・ひざタッチ相撲、トナカイとサンタ
・子どろ鬼

体育の授業以外で行う取組内容

・児童が自主的に休憩時に運動遊びに取り組めるよう、遊具の活用をメインにした運動遊びの記録表を作成し取り組ませる。
・体育委員会と連携し、運動をするイベントや運動会の体ほぐしダンスなど楽しく体を動かせる企画をする。
・柔軟性を高めるため裁量の時間(朝の会含む)に簡単なストレッチを取り入れる。

重点課題

情意面での課題

・体育の授業が楽しいと答えた児童の割合が92%
・運動が好きと答えた児童の割合が95%
(体を動かすことに関しては肯定的な回答が多い)

しかし

・体を動かす時間30分～1時間未満の児童の割合が14%
・ゲームやテレビ、スマートフォンを使用する時間が3時間以上の児童の割合

体力面での課題

○5年男子
・「握力」「長座体前屈」「ボール投げ」が県平均を下回っている。
○5年女子
・「握力」「長座体前屈」「ボール投げ」が県平均を下回っている。
○総合評価割合
・総合評価(A～E)を表す割合が、E・Dの児童が約17%となっている。

令和8年度の
重点目標値

○総合評価のED率を15%以下にする。
○「握力」「長座体前屈」「ボール投げ」の数値向上に全校で取り組み、県平均値を上回る児童の割合を増やす。